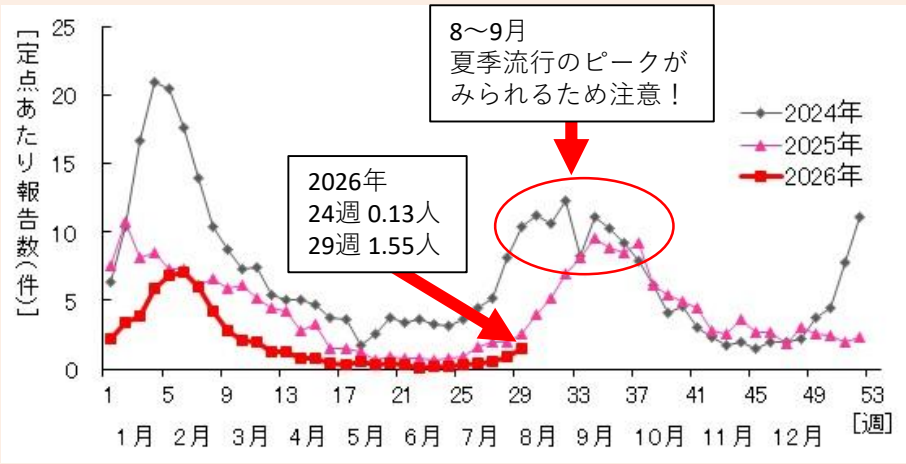
とちぎ感染症情報　８月号

（最新の患者情報）

発生動向等サーベイランス情報

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

◀新型コロナウイルス感染症（栃木県HP）



▲栃木県における新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移
2024年第１週～2026年第29週（2026年7月23日現在）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、近年夏季と冬季に患者数が増加する傾向があります。

高齢者施設等では、職員や入所者の体調不良をきっかけに集団感染が発生しやすく、高齢者や基礎疾患のある方は重症化しやすいため注意が必要です。

県内では第24週以降増加傾向にあり、過去2年間は8～9月に夏季の流行のピークがみられています。

今後の感染拡大に備え、手洗いや換気など感染対策を心がけるとともに、利用者や職員の体調変化の把握に努めましょう。

感染対策のポイント

シリーズ25：夏の感染症との区別は？

夏場にも、手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症など、発熱する感染症が数多くあります。これらの感染症は、小児だけでなく成人も罹患するため、施設内では新型コロナウイルス感染症と同様に、早期の対策が重要となってきます。

いずれの場合も、初期の症状からは区別がつきにくいため、発熱者の対応は、より感染力の強い「コロナかも？」と思って一律の応急対策を行うのがよいでしょう。

また、どの感染症であっても、標準予防策を徹底することが、施設内伝播のリスクを抑えることに大きく貢献します。

感染症専門家からのアドバイス



検査結果だけでなく、周囲の流行状況なども踏まえて総合的に判断しましょう。特に、流行期の「検査陰性」には注意が必要です。偽陰性（本当は感染している状態）が潜んでいる可能性があります。